

●生理学会大会保育室設置報告 男女共同参画推進委員会

小さな子供のある研究者も学会に参加しやすいようにと、福岡における生理学会薬理学会合同大会において保育室を設置することを大会幹事校にお願いした。保育室設置は生理学会にとってははじめての経験であったので、男女共同参画推進委員会も準備のお手伝いをした。ご記憶の方も多いと思うが、予備申し込みをメーリングリストで募集し、それから大会ホームページ、学会誌上で本募集を行った。生理学会関係だけで9名（5家族、1歳から小学校4年生まで）からの申し込みがあった。保育室は当初国際会議場の1室で開かれるはずであったが、申し込み人数が予想の2、3名よりはるかに多くなったため（薬理学会分もあわせると13名）、大会幹事校のご配慮により2室を使わせてもらえることになった。最終的に利用者は生理・薬理学会合計で6家族12名（キャンセルが1名あったため）、3日間で延べ35名であり、大半の方が3日間通して利用されたということである。

シッター派遣業者の選定にはかなり心を砕い

た。安心して預けられる実績があり、かつ費用も低く抑えられる業者でなければならない、ということで、二転三転した。最終的には当番幹事校の担当者となって下さった波多江先生ご紹介の‘きしゃぼっぽ’というグリーンコーポ系の非営利団体をお願いした。

次に心を砕いたのは、万が一の時の保険である。かけ方によっては子供一人あたり3000円にもなってしまう、というので頭が痛かったが、旅行保険と施設損害賠償保険とをかけることにより、子供と施設と両方についてカバーすることができ、費用も総額で3800円とまかなえる範囲となった。また、誘拐などの事件が起こるのを防ぐため、保育室の場所は保護者以外には明らかにせず、また見学希望者にはあらかじめ申し込んでもらい、ネームプレートにマークをつけてもらうことにした。筆者も何回か様子を見に行ったが、大変和やかに楽しい保育室運営がされていた（写真参照）。

12人の子供に対し5人の保母という余裕のあるシッター配置を行ったにもかかわらず、薬理学会



と生理学会からの合計10万円の補助と、子供一人1日2000円の保育料金で、何とかまかなうことができた。利用した保護者からのアンケートでは、また利用したいという回答がほとんどであっ

た。小さな子供を持つ研究者でも心おきなく学会に参加できるように、今後も継続的に学会に保育室を設置していただくことを学会当番幹事となられる先生方には是非ともお願いします。